



# 森ボラ 通信



第63号 2007年8月20日発行

NPO法人 北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 : Fax:241-8308

E-mail : hshinrinv2002@nifty.com

URL: <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

## トピックス

### ◆ ニセアカシア木炭化実験

#### 炭焼き記録 ニセアカシア

炭化炉とは言っても炭焼きは技術です、経験の蓄積です。これは次回更にもうまく焼けるようにするための忘備録です。

2004.9.4 倶知安町山田温泉の渡部さん別荘で後志森づくりセンターから窯を借りて会としてはじめて炭を焼く (協会アーカイブス参考)

2006.12 日本財団に助成申請認可へ。

「外来樹ニセアカシア撲滅の一環としての木炭化実験」

2007.2.9 リンケージプラザで石狩森づくりセンター清水野さん他による座学勉強会。

2007.6.10 当別クロウの森で粘土を採取。澄川の砂と混ぜて使う。

2007.7.12 薪割り機BELLS P21型シリアルNo506341 澄川で納品試運転。

2007.7.24 林試式移動式木材炭化炉1200型入荷札幌運輸から澄川に搬入。

2007.7.25 澄川環境緑林南端入り口の台風倒木のニセアカシア (DBH30cm2本) を

45cmに玉切り、径8~10cmに割り積

み込む。燃料は付近にあるガンビ、ドロ、ヤナギなどの枯れ木を上面、中央煙道に詰め込む。(上部に太い炭材を積み重ねておく)

2007.8.2 8:30 お神酒を上げ石川さんの祝詞 (のりと) により成功祈願礼拝。

8:45 点火

9:45 上蓋大取り付け

10:00 上蓋小取り付け

11:00 煙突を奇数位置に移す。煙突先端に笹の葉入れ下から木酢液とる。

11:20 煙突4本のうち2本はスベアを使った縦煙突3本繋ぎに。南の風が強く北側の吸入口2ケは半開とする。

11:45 煙突位置変更

12:35 No1(真北)の吸入口を更に1/5に絞る

12:45 奇数位置に変更。以後毎時間に位置変更

16:00 煙突を南側2本のみとする

19:25 煙突を外しすべての穴を土盛り

2007.8.3 朝 まだ外套が暖かい

15:00 日本財団、札幌市役所みどりの管理課立会いの下蓋を開ける。



自己評価 ; まあまあの出来。ニセアカシアは比重が重いのでこの炭化炉でも堅く焼ける。(酒井、記)



一段目の所に炭材を詰める



二段目の所に炭材を詰める



三段目の所に炭材を詰める



最後に本体にカバーを取付け、隙間に砂を詰めて断熱する。

## ◆ アイケン工業社有林視察

8月6日(月)参加20名。澄川作業日の午前を割いて、滝野スズラン公園の西側に隣接するアイケン工業の社有林を視察しました。面積は約40㌦(澄川の約2倍)とかなり広く、南側は国有林に接しています。伐採後放置状態にあったようで、ほぼ全域がチシマザサ(ネマガリタケ)に覆われていました。

西側の樹林はシラカバを主林木とする疎林で、ここの林床も太いチシマザサに覆われています。東半分は西北向き斜面で樹木はまばらの過疎林でチシマザサが密生しています。北東側に一部約1㌦足らずのカラマツの人工林があります。正門の周辺はかなり手入れされていて、一部開墾され温室の枠が組んでありました。

正門からまっすぐ林道を登りつめた尾根筋の高台に立派な展望台がありました。構造材木は腐食が進んでいますが、オーナーがこの森に期待をかけた意気込みがうかがえる雰囲気醸成しておりました。東側の高台には社神と思われる稲荷神社が祭ってありました。参道はきれいに手入れされていて現役であることがわかりました。この参道の北側山腹に植栽したと思われる小規模なクリ林がありました。

林道(作業道)は適切な密度で配置されており、四輪車が通れる幅がありますが、手入れされていないので、両脇からのササ、路面の雑草が繁茂しておりました。

アイケン工業は過去3年連続で植樹を協働(有明、野幌、澄川)した二青会のメンバーで岩本社長はその幹事役であることもあって、親しく話しができる関係にあります。この森に新たに投資をする計画はないとのことですが、当協会がよい方向で手入れをしてくれるなら任せてもよい。という意向を示していただきましたので、まずは現状把握という視察会を行なったわけです。

8月13日の8月幹事会で、取り組む方向で具体的な検討にはいることになりました。現状をふまえてのオーナーの意向をくみ入れた施業計画を長期・短期ともに検討に入ることになります。(高野、記)



## ◆ 豊かな自然—— 森ボラ会員限定情報

いま夏休みの真っ最中で子供たちはDIY ショップ、ペットショップやデパートの昆虫売り場に群がっている時期ですが先月号で高野さんが書いたように私たち森ボラ会員は自然の中でそれらを楽しむことができます。

活動は森林の育成・保全ですがその中には森林動物の保全も勿論含まれています。蛍のヤゴやミズバショウを踏みつけないように木道を設置するなどの活動などがそれです。この活動地は公有林であり森林分類上共生林ですがあまり宣伝もしたくないので会員限定情報としました。

8月2,3日 蛍狩り

炭焼きを兼ねたお泊まり会となり蛍狩りを楽しみました。昨年のような乱舞ではなくポチポチ飛んでいるのがいかにも天然らしくつつましいものでした。翌朝山原さんの報告によれば私たちが倒れるように爆睡したあとに炭窯の周りにも3匹飛んで来たそうです。

8月9日 第二ビオトープ

今日は駐車場のゴロタ丸太を割って薪づくりです。2年放置で腐れかかっていた。突然幼虫がごろごろ出てきて薪割り中止です。第二ビオトープを設置しチップをかけマットとしました。茶髪の小型のクワガタの成虫もでてきました。うまく醗酵して生息地になってくれればと願っています。(酒井、記)



## ◆ 「神宮の巨木」登録される

7月19日、28日の両日「北海道神宮の巨木」52本が環境省の巨樹・巨木林に登録されました。これで、存在さえ知られなかった神宮の巨木たちが、はれて68,410本の仲間に入りました。これも会員皆様の努力のお陰です。

この結果を知りたい方は、PCで [www.kyoju.jp/data/](http://www.kyoju.jp/data/) から環境省巨樹データベースを検索してください。このデータベースは環境省、全国巨樹・巨木林の会、奥多摩町 日原森林館が協力して作成しており、樹種、幹周、樹高、所在地などで検索できます。例えば主幹の幹周で

日本一の巨木は	鹿児島県蒲生のクスノキ(蒲生の大楠)	24.22m
道内一は	名寄市のミズナラ	9.10m
	歌志内市のカツラ(世継の桂)	9.10mです。

なかには、広島県豊栄町本宮八幡神社のスギは、幹周1cm、樹高31mと云う信じられない木もあります(データの入力ミスか? 確認中)。いろいろなデータがあり、見ても厭きません。

一度検索してください。(和田、記)

## ■ 今月の幹事会

出席者：荻田、酒井、杉本(茂)、高野(豊)、西野(悌)、棟方、山中、和田、

- ・移動式炭化炉での炭焼き開始、8月2日(木)から3日(金)の24時間かけニセアカシアの炭化状況と炭化品質の確認を実施、炭化有効性を確認しました。今後、炭化の高品質を目指し炭化技術の熟練度を上げていきます(別添写真)。監視員として多数のテント宿泊監視お疲れ様でした。
- ・友好団体「メイプル」の情報交換交流会に参加してゆきます。  
とき・ところ：9月16日(日)9:30~15:00・北広島市富ヶ丘里山センター  
集合：JR北広島駅9:00・会費1,500円
- ・オイスカ青山中央での下刈り支援に高野さん・酒井さんが参加(8月5日(日))、計画の4日は台風のため翌日に変更して実施しました。お疲れ様でした。
- ・会員・虎谷さんの「アップル山荘」で開催の木工展示会(8月2日(木))に多数の作品出展、有難う御座いました。26,900円の賛助金をいただきました。
- ・5周年事業の支笏湖植樹は10月実施に向け具体的行動を実施します。宮の森中学校との森林学習会も10月の向け対応していきます。
- ・新入会員(近藤あおいさん(女性))が8月の活動から参加しています、指導・支援をお願いします。

## ■ おしらせ

### ◆ 5周年記念旅行追加募集

(〆切 8月31日 事務局または下記幹事まで連絡下さい)

5周年記念の一環として、下川町「FSC認証林」と「森林セラピー」体感ツアーを企画していますが、若干、余裕がありますので追加募集いたします。

下川町は北海道で最初にFSC認証を受けた林業の先進地で、その視察と森林セラピーの体感、更に、樹木の利用工場を見学いたします。

なお、参加者には旅行しおりを森ボラ通信に同封しておりますが、参加希望者でしおりが同封されていない方は、恐れ入りますが再度お申し込みください。

一泊二日、貸切バス、16,000円、勿論 飲み会 もあります

9月11日(火) 雨天決行

8時45分 集合 札幌駅中央北口 鐘の広場

9時 札幌駅北口発 高速道路で一路 下川町へ

12時 現地産の弁当にて昼食、  
森林ガイドウォーク、森林セラピーの体感

18時 五味温泉宿泊 (天気によってスケジュール変更あり)

9月12日(水)

8時 FSC認証林視察、森林組合北町工場等見学

12時 美深町仁宇布に移動、昼食(バーベキュー)

15時 帰路

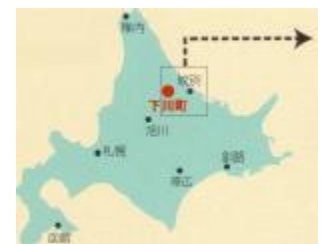
18時30分札幌駅北口着 解散

事務局 : 011-241-8155

旅行幹事：津金(090-2695-7455)、和田(090-6923-4549)



五味温泉



下川町マップ

### ◆ 図書紹介

図書2冊「森林療法のでびき 地域でつくる実践マニュアル」(A)と「読む」植物図鑑(B)。貸出します、申し出下さい。



B



A

## ■活動履歴

活動日	行事	参加人数	活動内容
8/17(金)	澄川	16	除伐・倒木処理
8/13(月)	幹事会	8	
8/9(木)	澄川	9	製材・薪割
8/6(月)	澄川	20	アイケンノ森探索・炭だし
8/5(日)	オイスカ青山中央	2	下刈り
8/3(金)	澄川	20	炭焼き(宿泊)・ほたる観賞
8/2(木)	りんご園	15	
	りんご園	4	木工展
7/30(月)	木工	14	
7/27(金)	りんご園	12	摘果
7/26(水)	澄川	23	製材・炭焼き準備
7/25(水)	澄川	18	製材・炭焼き準備
7/24(火)	りんご園	10	摘果
7/20(金)	りんご園	7	摘果

## ■ひとこま

### ◆ アップル山荘で木工作品の展示会

7月末に森ボラ会員の虎谷さんから8月2日(木)に木工製品の展示をしたいとの話がありました。聞いてみますと、(株)赤塚の取締役社長・赤塚充良氏が三重県の本社から来札され、FFC農法研究会員の三角山、斉藤りんご園の視察においでになるとの事です。

森ボラでは9月に芸術の森でアートマーケットを予定していたのですが作品不足のため中止しようかしまいか悩んでいる時でした(結果は中止になりました)。アップル山荘では今年の9月にも即売会が行われ良好な売上げがありました。

早速、木工会員の協力で作品を製作・追加、出品しました。当日は、80名ほどのFFC会員の方が見え、木工製品を買ってくれました。

30品目129点が展示され、40点が売れ、19,200円になりました。先の車庫工房での売上げが6,700円、炭が1,000円と、総合計26,900円です。

主に売れたのが箸・温度計・へら、などです。

又、TV出演などでお馴染みのFFC会員であり、クッキングキャスターの星沢幸子先生も展示会場においでになり、木工製品を買って下さいました。そして、「箸を2膳、見本に作ってもらい、気に入れば注文したい」と思いがけない申し込みがありました。作ってみたいと思います。(杉本則、記)



### ◆ 湯澤さんが協会にテントを寄付されました

自分で使用していたものですが、5～6人用テントで大変立派なものです。炭焼き訓練も兼ね実験回数が多くなります、利用頻度が増すものと思われます。有難う御座います。

共同使用では管理がおろそかになりがちです、大切に使用していきたいと思えます。

